

---

## 平成30年度 夕張市立夕張中学校 学校経営方針

---



- |   |           |           |        |     |
|---|-----------|-----------|--------|-----|
| 1 | 平成30年度    | 夕張市立夕張中学校 | 学校経営方針 | P 1 |
| 2 | 平成30年度    | 夕張市立夕張中学校 | 教職員一覧  | P 8 |
| 3 | 夕張市立夕張中学校 | 教育活動の紹介   |        | P 9 |
| 4 | 平成30年度    | 夕張市立夕張中学校 | 年間行事予定 |     |

日 時 平成30年5月15日(火) 18:00~

場 所 夕張市立夕張中学校 多目的室

平成30年度 夕張市立夕張中学校 学校経営方針

＜目指す生徒像＞  
 ○目標に向かって粘り強く学習する生徒  
 ○自他を思いやり、生命や人権を大切にする生徒  
 ○心と体を鍛え、安全で健康的に生活する生徒  
 ○場に応じた挨拶ができる生徒  
 ○きまりを守って生活することができる生徒

夕張市立夕張中学校 教育目標  
 「ふるさと 夕張に誇りをもち、明日を創造する生徒の育成」  
 ＜具体目標＞  
 「知」 自らを高める意欲にあふれる生徒  
 「徳」 自他を尊重する人間性豊かな生徒  
 「体」 ねばり強く実践するたくましい生徒

＜目指す教師像＞  
 ○目標をもち、指導力向上に努める教師  
 ○同僚性を大切にする教師  
 ○生徒の安全と自らの健康を大切にする教師  
 ○場に応じた挨拶ができる教師  
 ○法令や服務規律を遵守する教師

＜目指す学校像＞  
 ○生徒の学ぶ力を育てる学校  
 ○生徒が安全に、安心して生活できる学校  
 ○夕張の地にしっかりと根を下ろし、保護者や地域に開かれた学校

～ 平成30年度の重点目標 ～

＜重点目標 1＞ ※最重点目標  
 ◎**チームタ中で取り組む「確かな学力の定着」**  
 ①新たな研究主題のもと、校内研修と一体となった授業改善による質の高い学習指導の推進  
 ②家庭と連携した学習習慣の定着  
 ③「オンライン英会話」の実践の推進  
 ④一人一人のニーズに応える特別支援教育の推進  
 ⑤多様な学習機会の提供

＜重点目標 2＞ ※最重点目標  
 ◎**チームタ中で取り組む「生徒理解を基盤とした生徒指導の充実」**  
 ①不登校・いじめ等の未然防止・早期対応に対する組織的取組の推進  
 ②予防的・開発的生徒指導の推進  
 ③家庭と連携した基本的生活習慣の確立

＜重点目標 3＞  
 ◎**チームタ中で取り組む「豊かな心を育む道徳教育の充実」**  
 ①「道徳科」の実践を要とした道徳教育の推進  
 ②「道徳科」に関する研究の推進と指導力の向上  
 ③学校・地域の特色を生かした体験活動の実施

＜キーワード＞  
 「やると決めたら、小さなことでも、全員で、徹底して、継続して、取り組む」

＜重点目標 4＞  
 ◎**チームタ中で取り組む「健やかな身体の育成と健康安全教育の充実」**  
 ①運動習慣の定着と体力・運動能力の伸長  
 ②たくましく生きる力を育成する健康安全教育の推進  
 ③食育の推進による望ましい食習慣の定着

＜重点目標 5＞  
 ◎**チームタ中で取り組む「連携の強化による教育活動の充実」**  
 ①「コミュニティ・スクール」の導入による家庭・地域との協働体制の強化  
 ②学校間連携の推進  
 ③関係機関と連携した教育活動の改善・充実

重点目標具現化のための具体的方策（抜粋）

**連携**  
 ○CSをツールとした家庭・地域との協働体制の強化  
 ○保護者・地域との目標の共有化  
 ○異校種間連携による円滑な接続と教育活動の充実  
 ○地域人材を活用した教育活動の充実

◎知・徳・体をバランスよく育成する教育課程の編成  
 ◎新学習指導要領の全面実施に向けた具体的な教育課程編成作業の推進と移行措置の着実な実施  
 ◎「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえ、新たな研究主題にもと、校内研修と一体的に推進する授業改善の取組  
 ◎導入初年度となる「オンライン英会話」の実践と、本校における実践上の課題の明確化  
 ◎「道徳科」に関する研究の推進と、「考え、議論する道徳」への転換を図る指導方法の改善及び評価方法の確立  
 ◎本校の生徒の体力・運動能力の把握と、その分析・考察を通じた保健体育科の授業改善や望ましい運動習慣の定着に向けた組織的な取組の実施  
 ◎意図的・計画的な学級活動の指導による良好な人間関係の形成と、話し合い活動を通じて諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度の育成  
 ◎Q-Uアンケート等の活用による生徒理解を基盤とした生徒指導の推進  
 ◎特別な教育的支援が必要な生徒に対する「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の整備と個に応じた指導の充実  
 ◎短期・中期・長期的な展望をもった積極的な予算要望・予算執行の実施

各行事等の反省・改善、学校評価・学校関係者評価によるPDCAの機能化  
 ＜夕張市学校運営協議会による学校関係者評価の実施＞

**発信**  
 ○CSをツールとした学校経営方針等の家庭・地域への発信  
 ○学校だより等を活用した教育活動の成果・課題・改善策等の発信  
 ○教育活動の公開による学校（生徒・教職員）の姿と実践成果・課題の発信

# 平成30年度 夕張市立夕張中学校 学校経営方針

## I 目指す生徒像

- 目標に向かって粘り強く学習する生徒
- 自他を思いやり、生命や人権を大切にする生徒
- 心と体を鍛え、安全で健康的に生活する生徒
- 場に応じた挨拶ができる生徒
- きまりを守って生活することができる生徒

## II 学校経営の理念

教育基本法は、義務教育の目的を「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自律的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うこと」と規定しています。子どもたちが安心して登校し、のびのびと学校生活を送る中で、学習や生徒会活動、部活動などに精一杯取り組み、心身を鍛えるとともに、確かな学力を身につけ、自らの進路を切り拓いていくことは、中学校に課せられた大切な使命であると考えます。

また、新しい学習指導要領は、「社会に開かれた教育課程」の実現を強く求めています。急速な社会構造の変化に柔軟に対応し、たくましく生き抜いていく子どもたちを育てるため、身につけさせるべき資質・能力を明確にし、家庭や地域社会と今まで以上に連携を図りながら、教育活動を推進していく必要があります。

学校は、保護者や地域社会からの信頼に応えるとともに、一人一人の子どもたちに真摯に向き合い、その願いや期待に応えていかななくてはなりません。このことを踏まえ、「目指す学校像」を次の3点としました。

### <目指す学校像>

- 生徒の学び力を育てる学校
  - ・教職員が常に研究と修養に努め、質の高い授業実践を行い続ける学校
  - ・一人一人の生徒の学ぶ意欲を高め、学力の伸長を図る学校
- 生徒が安全に、安心して生活できる学校
  - ・教師と生徒、生徒同士の信頼関係を基盤に、生徒が充実感をもって生活する学校
  - ・生徒の安全を保障する教育環境の整備と命を守る教育を推進する学校
- 夕張の地にしっかりと根を下ろし、保護者や地域に開かれた学校
  - ・地域の教育力を教育活動に生かし、教育活動の成果や課題をわかりやすく発信する学校
  - ・一人一人の生徒がふるさと夕張に誇りをもち、郷土を大切にする心を育てる学校

一方で、急速な情報ネットワークの発展と反比例するように、子どもたちの人間関係を構築する力は低下傾向にあり、コミュニケーション能力の育成とともに、規範意識や自尊感情を高めることも課題となっています。学校は、「いじめ・不登校をはじめとする生徒指導上の課題」や「学力・体力の向上」「豊かな心の育成」「保護者や地域との連携」などの直面する課題に正面から向き合い、真摯に取り組んでいく必要があります。そのためには、私たち教職員自らが生徒に範を示すとともに、チームとして課題解決にあたる必要があると考え、「目指す教師像」を次の5点としました。

### <目指す教師像>

- 目標をもち、指導力向上に努める教師
- 同僚性を大切にする教師
- 生徒の安全と自らの健康を大切にする教師
- 場に応じた挨拶ができる教師
- 法令や服務規律を遵守する教師

私たち教職員が、教育のプロフェッショナルとして、妥協することなく自らの資質を高め、質の高い教育活動を展開することで、生徒やその保護者、地域と信頼関係を構築し、教育目標「ふるさと 夕張に誇りをもち、明日を創造する生徒の育成」の達成に向けて歩みを進めていくことが最も大切であると考えます。

### Ⅲ 学校経営の方針

#### 1 北海道教育推進計画

##### <基本理念>

- 「自立」 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む
- 「共生」 ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む

##### <目標>

- |     |            |     |                       |
|-----|------------|-----|-----------------------|
| 目標1 | 社会で生きる力の育成 | 目標4 | 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進 |
| 目標2 | 豊かな人間性の育成  | 目標5 | 学びをつなぐ学校づくりの実現        |
| 目標3 | 健やかな体の育成   | 目標6 | 学びを活かす地域社会の実現         |

#### 2 平成30年度「空知管内教育推進の重点」

##### <キーワード> 「協働・共育・共生による学びの質の向上」

##### <3つの推進の重点>

- 1 教育効果を高めるカリキュラム・マネジメントに基づく「協働」
  - ①各学校の課題・実情を踏まえた学校経営プランニングシート等を活用し、組織的・計画的に取り組む。
  - ②学校評価を効果的に活用し、学校運営の継続的な改善・発展を図る。
  - ③社会に開かれた教育課程の実現を目指し、カリキュラム・マネジメントを実践する。
- 2 指導方法の改善・充実に基づく「共育」
  - ①全教職員で子どもたちの質の高い学びを引き出す主体的・対話的で深い学びの実現に取り組む。
  - ②地域の学校（幼・小・中・高・特）が連携して一貫した教育課程を編成・実施し、学びのつながりを深める。
  - ③教職員のキャリアステージに応じて身に付けるべき資質能力を育む効果的な研修を充実する。
- 3 学校間や学校と地域間の連携に基づく「共生」
  - ①学校、家庭、地域が連携しながら、教育の目的を共有し、子どもの資質・能力の育成を目指す。
  - ②子どもの社会的・職業的自立に向け、地域全体でのキャリア教育を充実する。
  - ③地域との連携・協働体制を構築し、コミュニティ・スクールの取組を充実する。
  - ④子どもの学びを共に支え合う体制づくりに向けた、家庭、地域向けの研修・会議等を充実する。

#### 3 夕張市教育大綱と平成30年度夕張市教育行政執行方針

##### <夕張市教育大綱>

- 基本理念 ○郷土に誇りを持ち、共に支え合い、未来に向かって夢や希望に満ちた子どもたちを育む
- 市民生活が心豊かなものとなるよう身近に文化の風が感じられる「夕張文化」の創造と発展を期す

- 基本目標 ①確かな学力を身につける教育の推進
- ②豊かな人間性を身につける教育の推進
- ③健やかな心身を育む教育の推進
- ④人と人、地域と地域をつなぐ社会教育の推進

##### <平成30年度夕張市教育行政執行方針>

- 重点施策 ①確かな学力を身につける教育の推進
- ②豊かな人間性を身につける教育の推進
- ③健やかな心身を育む教育の推進
- ④人と人、地域と地域をつなぐ社会教育の推進

## 4 学校教育目標

### 夕張市立夕張中学校 教育目標

「ふるさと 夕張に誇りをもち、  
明日を創造する生徒の育成」

#### ＜具体目標＞

- 「知」 自らを高める意欲にあふれる生徒
- 「徳」 自他を尊重する人間性豊かな生徒
- 「体」 ねばり強く実践するたくましい生徒

#### 校 訓

- 「自律」 自らの規範意識を高め、社会の一員として調和の取れた人格の形成
- 「創造」 自主的な学習活動を通じ、個性を発揮し新しい時代を創造する能力の育成
- 「敬愛」 自然を敬い、自他の生命を尊重し、互いを愛し認め合う平和の心

## 5 学校経営の基本方針

北海道教育ビジョン、空知管内教育推進の重点、夕張市教育大綱及び夕張市教育行政執行方針を踏まえ、本校の教育目標の達成を目指して、「知」「徳」「体」の調和の取れた教育課程を編成し、教育活動を推進します。特に、本校の課題を踏まえ、「確かな学力の定着」と「生徒理解を基盤とした生徒指導の充実」の2つを最重点目標とし、指導方法の工夫・改善や積極的な生徒指導の推進に“チーム夕中”として、全教職員で取り組みます。教職員間の情報の共有化を図り、一人一人の職員が、自らの強みを生かしながら、“同じ山に登る”意識を強くもち、教育活動に当たることが大切であると考え、平成29年度に引き続き、次のキーワードを設定します。

#### ＜キーワード＞

「やると決めたら、小さなことでも、全員で、徹底して、継続して、取り組む」

また、平成30年度から夕張市の市立学校（幼稚園・小学校・中学校）に1つの学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールが始まります。開校以来、本校が地域の教育力を生かしながら教育活動の充実に取り組んできたことを踏まえ、コミュニティ・スクールの導入を機に、保護者や地域住民と教育の目標やビジョンを共有し、「地域とともにある学校」として、これまで以上に保護者・地域と連携して学校づくりを推進していきます。

さらに、保護者や学校運営協議会の協力を得て、学校評価のより一層の機能化を図るとともに、学校行事や学期ごとの教育活動に対しても常に反省・評価を行うことでPDCAサイクルを回し、スパイラルに教育活動の改善・充実を図ります。

今年度から新学習指導要領の移行期間に入ります。また、道徳科の教科書が今年度中に採択され、平成31年度から教科書を使用した授業が行われます。これまで取り組んできた研修の成果を踏まえ、新学習指導要領の全面実施に向けた新しい教育課程の編成に、進行管理を図りながら組織的に取り組むとともに、各教科等において、移行措置の着実な実施に取り組みます。同時に、今年度から夕張市の小学校・中学校・高等学校で本格的に導入される「オンライン英会話」について、実践を行いながら、本校における効果的活用方法の検討に取り組みます。

夕張市は財政再生計画の抜本的見直しを行い、財政再建と地域再生に向けた新たな一歩を踏み出しました。本校も保護者・地域・関係機関と連携を図りながら、生涯にわたって学び続け、明日を創造する子どもたちを育てるために、魂を込めて教育活動を推進していきます。

## Ⅳ 経営の重点（本年度の重点目標）

### 1 チームタ中で取り組む「確かな学力の定着」（最重点目標）

- (1) 学習指導要領の改定を踏まえた新たな研究主題のもとで、校内研修と一体となった授業改善に取り組み、確かな学力の定着を図る質の高い学習指導を推進する。
- (2) 家庭と連携し、家庭における学習習慣の定着を図る取組を推進する。
- (3) 「オンライン英会話」の効果的な活用について、実践と研究を推進する。
- (4) 一人一人の生徒の教育的ニーズに応える特別支援教育を推進する。
- (5) 主体的な学習を支援し、学び続ける意欲を喚起する多様な学習機会を提供する。

### 2 チームタ中で取り組む「生徒理解を基盤とした生徒指導の充実」（最重点目標）

- (1) 不登校・いじめ等の未然防止・早期対応に組織的に取り組む。
- (2) 生徒指導の質的向上を図り、教師の高い専門性と共感的な生徒理解に基づく、予防的・開発的生徒指導を推進する。
- (3) 保護者・地域・関係機関と連携し、生徒の基本的な生活習慣の確立と自己実現を促す積極的な生徒指導を推進する。

### 3 チームタ中で取り組む「豊かな心を育む道德教育の充実」

- (1) 「道德科」の計画的・創造的な実践を要として、教育活動全体を通じて生徒の心を耕す道德教育を推進する。
- (2) 「道德科」の研究に全校で取り組み、「考え、議論する道德」の視点を踏まえ指導力の向上を図るとともに、「道德科」の教科書に対応した指導計画・評価計画の整備に取り組む。
- (3) 学校や地域の特色を生かした体験活動を教育活動に位置づけ、道徳的な判断力や実践意欲等の育成を図る。

### 4 チームタ中で取り組む「健やかな身体の育成と健康安全教育の充実」

- (1) 教育活動全体を通じて望ましい運動習慣の定着と体力・運動能力の伸長に取り組む。
- (2) 自他の生命を尊重し、たくましく生きる力を育成する健康安全教育を推進する。
- (3) 教育活動に食育を効果的に位置づけ、健やかな成長の基盤となる望ましい食習慣の定着を図る。

### 5 チームタ中で取り組む「連携の強化による教育活動の充実」

- (1) 「コミュニティ・スクール」をツールとして、学校と家庭（PTA）・地域の協働体制を一層強化し、情報の共有化による相互理解の促進と教育活動の充実を図る。
- (2) 夕張の子どもたちを地域全体で育てる理念を共有し、円滑な接続を図る観点から幼・小・中・高・養の学校間連携を推進する。
- (3) 関係機関と連携し、学習指導・生徒指導・キャリア教育等の充実を図るとともに、「学校運営協議会」による学校関係者評価等を通じて教育活動全体の改善・充実を図る。

## V 重点目標具現化のための方策

- 1 教育課程の編成・実施・管理
  - (1) 知・徳・体をバランスよく育成する教育課程の編成
  - (2) 地域の教育資源を生かした特色ある教育課程の編成と総合的な学習の時間・特別活動（学校行事を含む）等の指導内容の精選
  - (3) 学校評価の一層の機能化と各教育活動におけるマネジメントサイクルの確立
  - (4) 新学習指導要領の全面实施に向けた具体的な教育課程編成作業の推進と移行措置の着実な実施
- 2 学習指導・校内研修
  - (1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえ、新たな研究主題のもと、校内研修と一体的に推進する授業改善の取組
  - (2) 校内研修を基盤とした「学習規律」の定着、「課題（目標）」の提示と「まとめ」を工夫した指導過程、板書とノート指導の一体化、生徒指導の機能を生かした授業づくりの実践
  - (3) 標準学力検査、全国学力・学習状況調査の組織的分析による課題の把握と授業改善の取組
  - (4) 加配教員を活用した習熟度別少人数指導・TT指導による一人一人の生徒の実態に応じたきめ細かな指導の実施
  - (5) 家庭学習の習慣化に向けた組織的な取組の推進
  - (6) 放課後や長期休業を活用した補足的な学習の機会の設定と小テスト、単元テスト、チャレンジテスト等の効果的活用による学力の底上げ
  - (7) 導入初年度となる「オンライン英会話」の実践の推進と本校における実践上の課題の明確化
  - (8) 道立教育研究所・道立特別支援教育センター・空知教育センター等の研修講座、研究団体の研究大会、各校の公開研究会等への計画的参加と校内への還元
  - (9) 夕張市からの支援を積極的に活用した資格取得の奨励
- 3 道徳教育
  - (1) 平成30年度の指導計画の着実な実施と「私たちの道徳」の他、各種教材・資料を効果的に活用した道徳の時間の実践
  - (2) 校内研修を中心とした「道徳科」に関する研究の推進と、「考え、議論する道徳」への転換を図る指導方法の改善及び評価方法の確立
  - (3) 各種研修講座・研究会等の参加による「道徳科」に関する実践事例等の収集と平成31年度（2019年度）からの教科書使用に対応した年間指導計画等の整備
  - (4) 「中学生広島派遣」を題材とした平和・人権教育や生徒会・PTA主催によるボランティア活動を通じた道徳的心情の育成
- 4 健康安全指導・食育
  - (1) 新体力テストの実施による本校の生徒の体力・運動能力の把握と、その分析・考察を通じた保健体育科の授業改善や望ましい運動習慣の定着に向けた組織的な取組の実施
  - (2) 学校保健計画に沿った保健指導等の実施による望ましい生活習慣の定着や自らの健康管理を適切に行う態度の育成
  - (3) 外部講師を招聘した避難訓練、防災・防犯教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教室等の効果的な実施
  - (4) 給食指導及び家庭科等の教科指導における食に関する指導の実施と望ましい食習慣についての家庭への啓発の推進
- 5 特別活動・学級経営
  - (1) 意図的・計画的な学級活動の指導による良好な人間関係の形成と、話し合い活動を通じて諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度の育成
  - (2) よりよい学校生活の実現に向けた生徒会活動の推進による自治力の育成



- (3) 生徒の良さや可能性を伸ばし、集団への所属感・連帯感を深め、よりよい人間関係の形成に資する学校行事の実施
  - (4) キャリア教育との関連を図り、自らの将来について主体的に考え、選択できる力を育てるための意図的・計画的・系統的進路指導の推進
- 6 生徒指導
- (1) 生徒指導部・生徒指導委員会を中心とした情報の共有化と指導方針の明確化による不適応行動等に対する組織的対応の推進
  - (2) 意図的・計画的な教育相談活動の実施による不登校等の不適応行動の未然防止、早期発見・早期解消の取組
  - (3) Q-Uアンケート等の有効な活用による生徒理解を基盤とした生徒指導の推進
  - (4) 「夕張中学校いじめ防止対策基本方針」に基づくいじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けた取組の推進
  - (5) 生徒会を中心としたいじめ根絶に向けた取組の推進によるいじめが起きにくい学校風土の醸成
  - (6) スクールカウンセラー、夕張市教育委員会子ども・子育て支援係等との連携による課題を抱えた生徒や家庭に対する支援の実施
- 7 総合的な学習の時間
- (1) 体験的な活動を適切に位置づけたふるさと夕張への理解を深める指導や自己の生き方について深く考えさせる指導の実施
  - (2) 関係機関との連携や地域の教育資源の活用による福祉・環境・観光・伝統文化及び外国語や外国の文化に関する学習を通じた国際理解等、多様なテーマについて学ぶ機会の設定
- 8 特別支援教育
- (1) 保護者・関係機関との連携による特別な教育的支援が必要な生徒に対する「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の整備と個に応じた指導の充実
  - (2) 特別支援教育推進委員会（校内委員会）の一層の機能化による就学指導、高等養護学校との連携（パートナー・ティーチャー派遣）、通常学級の生徒に対する特別支援等の推進
  - (3) 通級指導教室の指導体制の確立と個に応じた指導の充実、並びに実践の成果と課題の明確化
- 9 学校事務
- (1) 学校の課題を踏まえ、短期・中期・長期的な展望をもった積極的な予算要望・予算執行の実施
  - (2) 公文書や備品の適切な保管・管理と適正な会計処理による金銭事故の防止
  - (3) 全教職員の協力体制による経費の節減と、環境教育とも関連づけた生徒に対する省エネルギー等の指導の実施
- 10 保護者・地域・異校種・関係機関との連携
- (1) 家庭訪問、三者懇談、学年・学級懇談会等を積極的に活用した情報の共有化と指導方針の説明等による保護者との信頼関係の構築
  - (2) コミュニティ・スクールの導入に伴う校内体制の整備と家庭・地域・関係機関との協働体制の強化
  - (3) コミュニティ・スクールの効果的運用による地域人材を活用した教育活動の充実や安全・安心な学校づくりの推進
  - (4) PTA活動の活性化と保護者が来校しやすい環境づくりの推進
  - (5) 学校間連携の積極的な推進による小・中・高校間の引き継ぎや体験入学・学校説明会、児童・生徒の相互交流等の計画的な実施
  - (6) 南空知中体連事務局との連携による「平成31年度（2019年度）北海道中学校体育大会 北海道中学校スキー大会（アルペン競技）」の開催準備の推進